

防災会だより

第3号

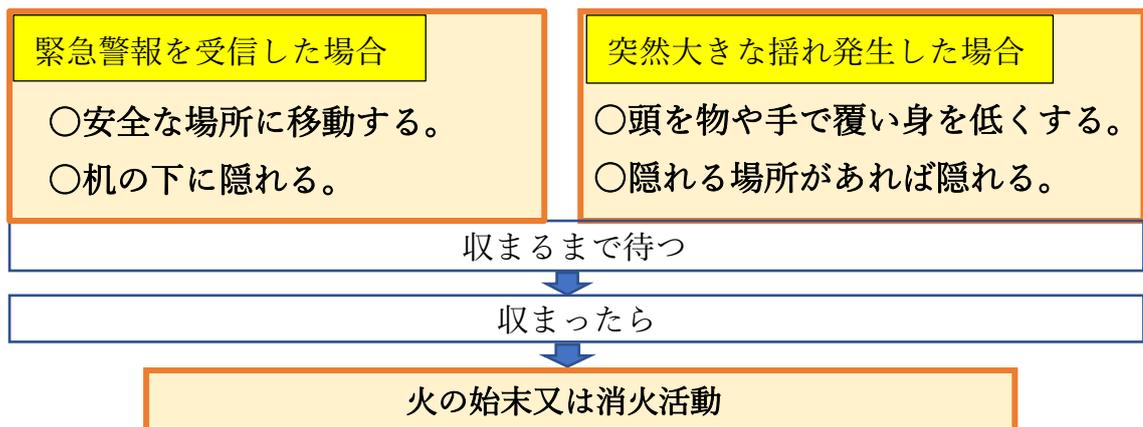
発行 恵み野南
自主防災会
連絡先：天坂（37-3398）

《地震発生時の初動》

様々な災害発生に備え、普段から十分な対策を講じておくのはもちろんですが、「阪神・淡路大震災」のような大災害が発生した場合には、まずは自分の安全確保そして家族の救助が第1です。

貴方の最初の動き方が命の分かれ目となります。しかしながら、咄嗟の動きは非常に困難なもの、日頃からイメージトレーニングを積んでおきましょう。

1 初動対処



2 状況確認・・・同居者の安否確認

3 避難経路の確保・・・玄関及び裏口等の開放

4 ライフラインの確認（水の確保）・・・風呂に水をためる。

5 隣近所の状況確認 → 要救助者がいれば隣近所に声をかけ2人以上で救助

6 避難の準備

非常持ち出し物品、薬（薬手帳を含む）、現金、貯金通帳、印鑑、保険証、下着類、タオル、ティッシュ等

7 避難（恵み野小学校へ）

① 電気ブレーカー、ガス栓（屋外）及び灯油の元栓：OFF

② 家の施錠

③ 長靴又は行動しやすい靴を履いて、徒歩で避難

（避難所で履く内履き（スリッパ等）と外履きを入れる袋も忘れないで！）

災害対策基本法に規定された住民の責務

『住民は、食品、飲料水その他の生活必需物資の備蓄その他の自ら災害に備えるための手段を講ずるとともに、防災訓練その他の自発的な防災活動への参加、過去の災害から得られた教訓の伝承その他の取り組みにより防災に寄与するように努めなければならない。』

住 民（ 個 人 ）

生活必需物資の備蓄
災害に備えるための手段
防災訓練への参加
防災活動への参加

町 内 会

教訓の伝承
防災訓練の実施
防災活動の実施

防 災 ク イ ズ

第1問 家にいる時に大地震が発生し、自分より体重の重い人が倒れて動けなくなっています。さてどうやって運び出しますか？

- A: 毛布で体全体をくるんで運ぶ B: ひもをわきの下に巻いて運ぶ
C: ジャンパーを着せて襟を引っ張って運ぶ

第2問 ビニール袋の正しい使い方は次のうちどれですか？

- A: 膨らませて防災頭巾の代わりに使う B: 水を入れて火元に投げつけ、火を消す
C: 頭からかぶり火災のときの煙を吸わないようにする

第3問 激しい雨が続き、水が溢れて道路や床下に氾濫し始めました。家族そろって避難することになりましたが正しい行動は？

- A: 車を避けるため道路の端を歩く B: 元気な人を先頭に急ぎ足で歩く
C: 高齢者・子どもを真ん中に縦に一列になってゆっくり歩く

第1問:A:毛布で、体全体をくるんで運ぶ。(脇の下だと力の及ぶ所が狭いため、ヒモもジャンパーも強い力がないと運べない。)第2問:C:頭からかぶり、火災の時に煙を吸わないようにする。(空気をいれかぶると2〜3分呼吸できます。煙を2呼吸程度吸うと意識不明でその場に倒れてしまうことがあります。)
第3問:C:高齢者・子供を真ん中に、縦に一列になってゆっくり歩く。(道路の端は、側溝・マンホールの蓋が外れているなど危険。先頭の人や、安全を長い棒などで確認しながら着実に前に進む。元気な人が、高齢者や子供を背負ったり、前後の人をロープで結んで避難する。)